

種名と配列に関わる解説等（維管束植物）

目録は原則として標本、もしくは標本に基づく文献・資料に基づいて作成し、生育状況については現地調査・文献情報等に基づいて記載した。

生育状況の区域区分については、2003年及び2009年出版の『岡山県野生生物目録』と同様に、旧市町村界により区域区分を行った。その区域区分については「2 目録の解説項目と内容」のとおりである。なお、海の区分については、砂浜、干潟、塩性湿地、汽水、海崖などに生育する植物を該当させた。

生育環境区分については、できるだけ地域の情報として得られたものを記載するように留意した。備考については、種によっては帰化、もしくは栽培からの逸出・野生化、別名等の情報も加えた。

種の和名・学名については、原則的に以下の文献・資料を参考としたが、分類群によっては最新の情報を反映させた。

シダ植物

学名は主に『日本産シダ植物標準図鑑 I』（海老原，2016）及び『日本産シダ植物標準図鑑 II』（海老原，2017）に準拠したが、種によっては YList（米倉・梶田，2003-）などの学名を使用した。

種子植物

全体的には YList（米倉・梶田，2003-）による配列と学名に準拠したが、テンナンショウ属については『日本産テンナンショウ属図鑑』（邑田ほか，2018）に、旧ユリ科（チシマゼキショウ科、キンコウカ科、シュロソウ科、イヌサフラン科、サルトリイバラ科、ユリ科、ススキノキ科（本目録ではワスレグサ科として記載）、ヒガンバナ科の一部、クサスギカズラ科）は『改訂新版 日本の野生植物 I』（大橋ほか編，2015）に準拠した。

主要文献

- ・海老原淳. 2016. 日本産シダ植物標準図鑑 I. 学研, 東京.
- ・海老原淳. 2017. 日本産シダ植物標準図鑑 II. 学研, 東京.
- ・Fujiwara T, Ogiso J, Ishii S, Togo K, Nakato N, Serizawa S, Chao YS, Im HT, Ebihara A and Watano Y 2021. Species delimitation in the *Phegopteris decursivopinnata* polyploid species complex (Thelypteridaceae). *Acta. Phytotaxonomica et Geobotanica* 72(3): 205-226.
- ・Fuse S and Tamura MN 2016. Biosystematic studies on the genus *Heloniopsis* (Melanthiaceae) I. Phylogeny inferred from plastid DNA sequences and taxonomic implications. *Nordic Journal of Botany* 34(5): 584-595.
- ・Hori K, Ebihara A and Murakami N 2018. Revised classification of the species within the *Dryopteris varia* complex (Dryopteridaceae) in Japan. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 69(2): 77-108.
- ・Hoshino T, Katsuyama T, Masaki T and Michikawa M 2020. *Carex* L. In: Iwatsuki K, Boufford DE and Ohba H (eds.), *Flora of Japan*, vol. IVa. Angiospermae: Monocotyledoneae (a), pp. 226-344. Kodansha, Tokyo.
- ・星野卓二・正木智美. 2011. 日本カヤツリグサ科植物図譜. 平凡社, 東京.
- ・Iketani H, Yamamoto T, Katayama H, Uematsu C, Mase N, Sato 2010. Introgression between native and prehistorically naturalized (archaeophytic) wild pear (*Pyrus* spp.) populations in Northern Tohoku, Northeast Japan. *Conservation Genetics* 11:115-126.
- ・池谷祐幸. 2015. ミチノクナシ(イワテヤマナシ) *Pyrus ussuriensis* Maxim. の正体. 東北植物研究 No. 18: 1-13.
- ・勝山輝男. 2015. 日本のスゲ 増補改訂. 文一総合出版, 東京.
- ・小林幹夫. 2017. 原色植物分類図鑑 日本のタケ亜科植物. 北隆館, 東京.

- ・ 邑田仁・大野順一・小林禧樹・東馬哲雄. 2018. 日本産テンナンショウ属図鑑. 北隆館, 東京.
- ・ 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩(編). 2015. 改訂新版 日本の野生植物 1. 平凡社, 東京.
- ・ 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩(編). 2016. 改訂新版 日本の野生植物 2. 平凡社, 東京.
- ・ 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩(編). 2016. 改訂新版 日本の野生植物 3. 平凡社, 東京.
- ・ 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩(編). 2017. 改訂新版 日本の野生植物 4. 平凡社, 東京.
- ・ 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩(編). 2017. 改訂新版 日本の野生植物 5. 平凡社, 東京.
- ・ すげの会. 2018. 正木智美(編), 日本産スゲ属植物分布図集. すげの会, 岡山.
- ・ 鈴木貞雄. 1978. 日本タケ科植物総目録. 学習研究社, 東京.
- ・ 鈴木貞雄. 1996. 日本タケ科植物図鑑. 聚海書林, 千葉.
- ・ Wang L, Wu ZO, Xiang QP, Heinrichs J, Schneider H and Zhang XC 2010. A molecular phylogeny and a revised classification of tribe *Lepisoreae* (Polypodiaceae) based on an analysis of four plastid DNA regions. *Botanical Journal of the Linnean Society* 162: 28-38.

- ・ 米倉浩司・梶田 忠. 2003-. 「BG Plants 和名-学名インデックス」(YList), <http://ylist.info>(2025年1月20日).